

# 令和5年労働災害発生状況

(1月1日から1月末日の間の報告件数)

いわき労働基準監督署

業種別	年別	令和5年		令和4年		対前年比	
		死亡	死傷者	死亡	死傷者	増減数	増減率
全産業合計		0	34	0	17	17	100.0%
01 製造業小計		0	3	0	3	0	0.0%
食料品製造業		0	1	0	2	-1	-50.0%
繊維工業		0	0	0	0	0	±0.0%
繊維製品製造業		0	0	0	0	0	±0.0%
木材・木製品製造業		0	0	0	0	0	±0.0%
家具・装備品製造業		0	0	0	0	0	±0.0%
パルプ・紙・加工品製造業		0	0	0	0	0	±0.0%
印刷製本業		0	0	0	0	0	±0.0%
化学工業		0	0	0	0	0	±0.0%
窯業・土石製品製造業		0	0	0	0	0	±0.0%
鉄鋼業		0	0	0	0	0	±0.0%
非鉄金属製造業		0	0	0	0	0	±0.0%
金属製品製造業		0	1	0	1	0	0.0%
一般機械器具製造業		0	0	0	0	0	±0.0%
電気機械器具製造業		0	0	0	0	0	±0.0%
輸送用機械器具製造業		0	0	0	0	0	±0.0%
電気・ガス・水道業		0	0	0	0	0	±0.0%
その他の製造業		0	1	0	0	1	+ %
02 鉱業小計		0	0	0	0	0	±0.0%
03 建設業小計		0	4	0	2	2	100.0%
土木工事業		0	1	0	1	0	0.0%
建築工事業		0	1	0	0	1	+ %
その他の建設業		0	2	0	1	1	100.0%
04 運輸交通業小計		0	5	0	2	3	150.0%
鉄道・軌道・水運・航空業		0	0	0	0	0	±0.0%
道路旅客運送業		0	0	0	0	0	±0.0%
道路貨物運送業		0	5	0	2	3	150.0%
上記以外の運輸交通業		0	0	0	0	0	±0.0%
05 貨物取扱業		0	0	0	0	0	±0.0%
06 農林業		0	0	0	2	-2	-100.0%
07 畜産・水産業		0	0	0	0	0	±0.0%
上記以外の第三次産業小計		0	22	0	8	14	175.0%
08 商業		0	2	0	2	0	0.0%
09 金融広告業		0	0	0	0	0	±0.0%
10 映画・演劇業		0	0	0	0	0	±0.0%
11 通信業		0	1	0	2	-1	-50.0%
12 教育・研究業		0	0	0	0	0	±0.0%
13 保健衛生業		0	13	0	1	12	1200.0%
14 接客娯楽業		0	3	0	2	1	50.0%
15 清掃・と畜業		0	3	0	1	2	200.0%
16 官公署		0	0	0	0	0	±0.0%
17 その他の事業		0	0	0	0	0	±0.0%

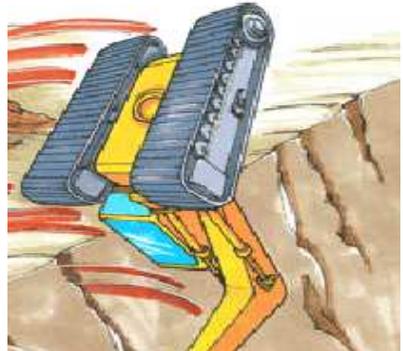
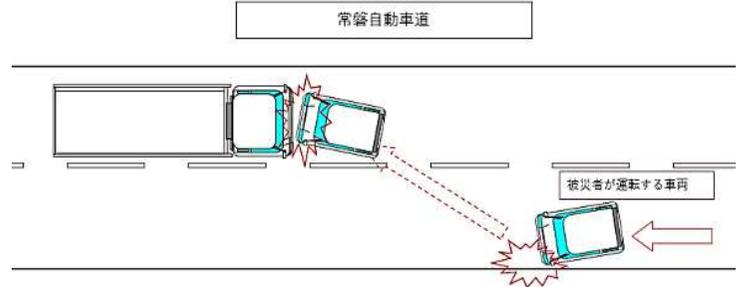
上記のうち下記の作業・工事、「事故の型」	令和5年		令和4年		対前年比	
	死亡	死傷者	死亡	死傷者	増減数	増減率
東日本大震災の復旧・復興工事	0	0	0	1	-1	-100.0%
除染以外の復旧・復興工事	0	0	0	1	-1	-100.0%
全産業のうち「転倒」災害	0	4	0	6	-2	-33.3%
全産業のうち「コロナウイルス」災害	0	11	0	0	11	+ %

本統計は、休業4日以上労働者死傷病報告による。

- ・路面凍結でスリップした車両の死亡事故が発生。凍結時は不要不急の外出控える。車を運転する際は安全速度で！
- ・重機等災害が3件発生しています。作業方法に適切な能力を有する機械選定してください。
- ・コロナ感染防止のため厚労省～5つのポイント～を確認してください。

# 令和5年 死亡等労働災害発生状況

発生年月	業種	被災者	災害発生状況
令和5年1月	建設業	70代男性 足骨折	歩道舗装版をドラグ・ショベルで撤去する作業において、ドラグ・ショベルのオペレーター（1次下請）が運転を停止して現場代理人が打ち合わせを行っていた際に、被災者その間に剥離した舗装片の回収をドラグ・ショベルの排土板付近で行っていた。打ち合わせが終わりオペレーターがドラグ・ショベルの運転を再開したところ、被災者が排土板に足（ふくらはぎ）を挟まれた。
1	 <p>出典：職場の安全サイト</p>		
令和5年1月	建設業	40代男性 頭部裂傷	工場建設現場内の機器設置作業において、リフター（門型の荷揚げ装置）2基を使用して、寝かせた状態の機材を共吊りして引き起こす作業中、片方のリフターが外側に倒れ、桁（Iビーム）が被災者の頭部に激突し下敷きとなった。側にあった台車の上に桁が倒れたため、作業床と桁の間に隙間があったため、大事には至らなかった。
3	 <p>出典：職場の安全サイト</p>		

発生年月	業種	被災者	災害発生状況
令和5年1月	建設業	40代男性 足骨折	重機が作業する仮設道路上に敷いた鉄板が1枚ずれていたことから、被災者がずれた鉄板とは別の鉄板の上で重機を運転し、バケットでずれた鉄板を動かして調整していたところ、重機が滑り法面に転落し、横転した。災害発生時被災者はシートベルトをしていなかったものの、アーム側に転倒したため、車外に投げ出されなかった。
2	 <p>出典：職場の安全サイト</p>		
令和5年1月	建設業	30代男性 死亡 (調査中)	被災者が夜10時頃、福島県南相馬市の常磐自動車道入り車線を軽ワゴン車を運転し走行中、軽ワゴン車が凍結路面でスリップして左側のガードレールに接触し、その反動で中央分離帯を越え、反対車線を走行していた大型トラックと正面衝突した。軽ワゴン車を運転していた被災者が死亡した。
4	<p>常磐自動車道</p>  <p>いわき四倉インター至</p>		